

# データ利活用型スマートシティ推進事業の概要

都市や地域が抱える様々な課題の解決や地域活性化・地方創生を目的として、ICTを活用した分野横断的なスマートシティ型の街づくりに取り組む、地方公共団体等の初期投資・継続的な体制整備等にかかる経費（機器購入、システム構築及び体制整備に向けた協議会開催等に係る費用）の一部を補助。



## 平成29年度と平成30年度の予算額の推移

<平成29年度>

「ICTスマートシティ整備推進事業」予算額5.1億円の内数

- ・うち補助金予算額: 2.4億円
- ・交付決定件数: 6件 ※応募件数8件

<平成30年度>

「ICTスマートシティ整備推進事業」予算額2.5億円

- ・うち補助金予算額: 2.0億円
- ・採択予定件数: 5件

複数分野のデータを収集し分析等を行う基盤(プラットフォーム)を整備するとともに、ベンチャー企業などの多様な主体が参画するための体制整備等を行う事業を公募し、以下の6団体を採択。

## ①札幌市(一般社団法人さっぽろ産業振興財団)

- ◆ 観光、交通(雪対策)、健康などの分野を対象として、プラットフォームを構築の上、地元協議会を設立。
- ◆ 観光分野: Wi-Fiやビーコンからの人流情報のほか、民間事業者からの購買情報や交通情報などを活用して、マーケティング分析や情報発信を行うサービスを展開。

## ②横浜市(株式会社リアライズ)

- ◆ 「データジャケット」と呼ばれる、データの概要や属性情報(メタデータ)、住民ニーズ等を解析・可視化し、新たな課題の発見と解決を行う手法を実現するプラットフォームをクラウド上に構築。
- ◆ 多様な団体が参画する住民参加型のワークショップの開催を通して、課題解決シナリオの策定等に貢献。

## ③加古川市

- ◆ 安全・安心分野をはじめとした複数分野を対象として、プラットフォームを構築の上、地元協議会を設立。
- ◆ Wi-Fiやビーコンからのログや検知情報のほか、見守りカメラ情報等を活用し安心・安全ダッシュボードを構築するとともに、共通ポイントによるボランティア活動のインセンティブを付与。

## ④高松市

- ◆ 観光、防災などの分野を対象として、プラットフォームを構築の上、地元協議会を設立。
- ◆ レンタサイクルに設置するGPSや、水位センサー等から得られるデータを活用して、観光客の動態分析を経た施策展開や災害対応の効率化を図る。

## ⑤会津若松市(アクセンチュア株式会社)

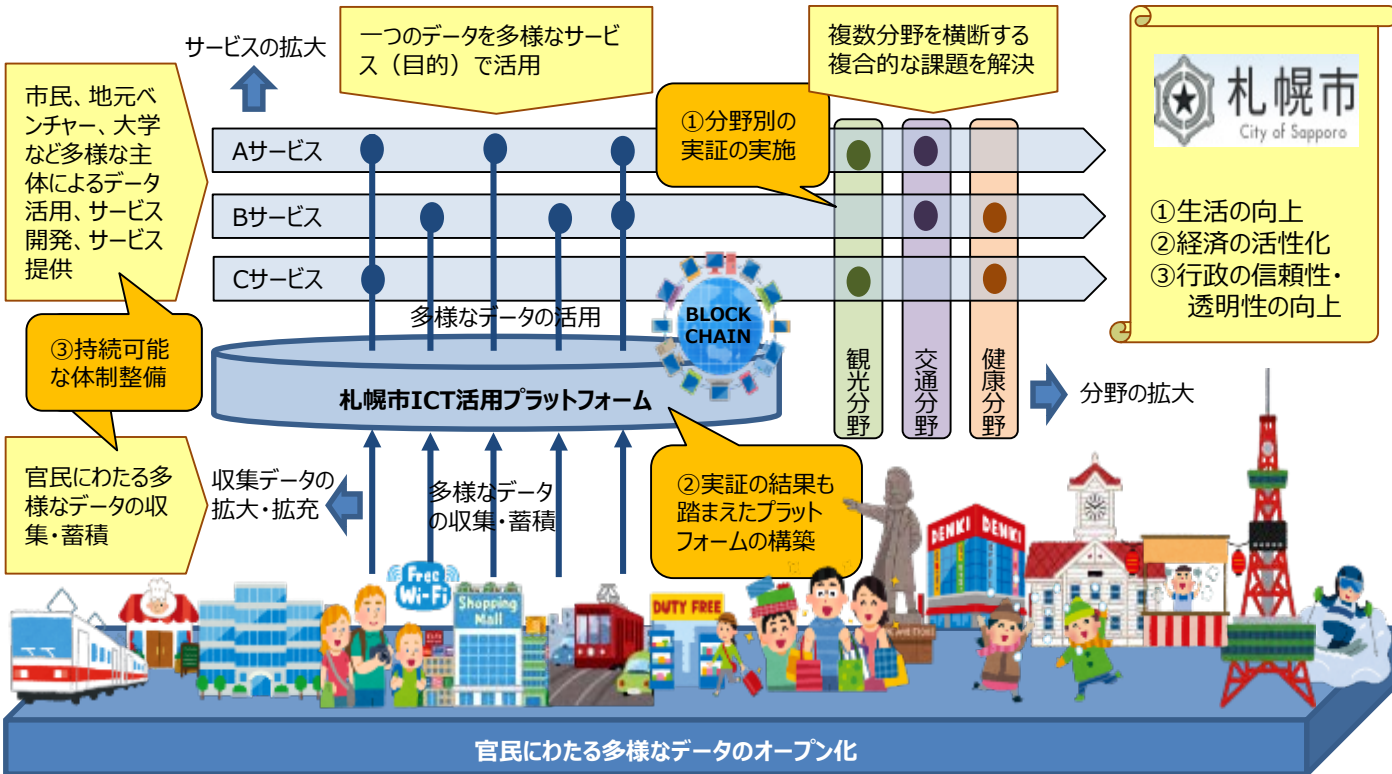
- ◆ MyID(FacebookやTwitterでログイン)のシステムの導入やマイナンバーカード認証との連携
- ◆ LINEを活用した市民サービスコンシェルジュやベンチャー等データを活用した新サービスを提供するための開発者用ポータルを整備

## ⑥さいたま市浦和美園地区 (一般社団法人美園タウンマネジメント)

- ◆ まちのデータ(健康・モビリティ・購買)の収集・管理・活用を可能とするPFを構築
- ◆ H29年度:健康、見守り、熱中症対策、インバウンド、市の総合サービス等をテレビ等で情報発信する「まちのかわら版」を実施

<b>実施地域</b>	札幌市
<b>実施団体</b>	一般財団法人 さっぽろ産業振興財団
<b>事業概要</b>	札幌市の課題に対応した複数の分野に係る実証を行い、その結果も反映したプラットフォームをブロックチェーン技術を導入して構築するとともに、サービス提供やオープンデータ化において地元企業など多様な主体が参画した体制整備を行う。

## プラットフォームのイメージ



## 観光分野における取組例

- ◆ Wi-FiやGPSによる人流情報と商業施設の購買情報のクロス分析により、国籍別/商品別プロモーションを実施。
- ◆ デジタルサイネージやwebページ(多言語対応)などで、観光情報だけでなく、事故などによる運休情報含む交通情報を表示。

## 交通分野における取組例

- ◆ 道路状況や走行状況のデータを基に、路肩の積雪や路面の轍などにより渋滞が発生しやすい区間などを予測・分析し、除排雪作業を効率化。
- ◆ 市民のスマートフォン撮影によって路面凍結状況を収集し、転倒リスク軽減のための情報発信や滑り止め材の散布促進。


## 健康分野における取組例

- ◆ 歩数データ、生体(体重・体脂肪率)データ、個人意識(アンケート収集)などを収集分析。
- ◆ 健康と運動の関係性の確認、活用できるデータの明確化、収集したデータの傾向を明確化し、利用者個々人に応じた健康増進等に係る情報を提供。

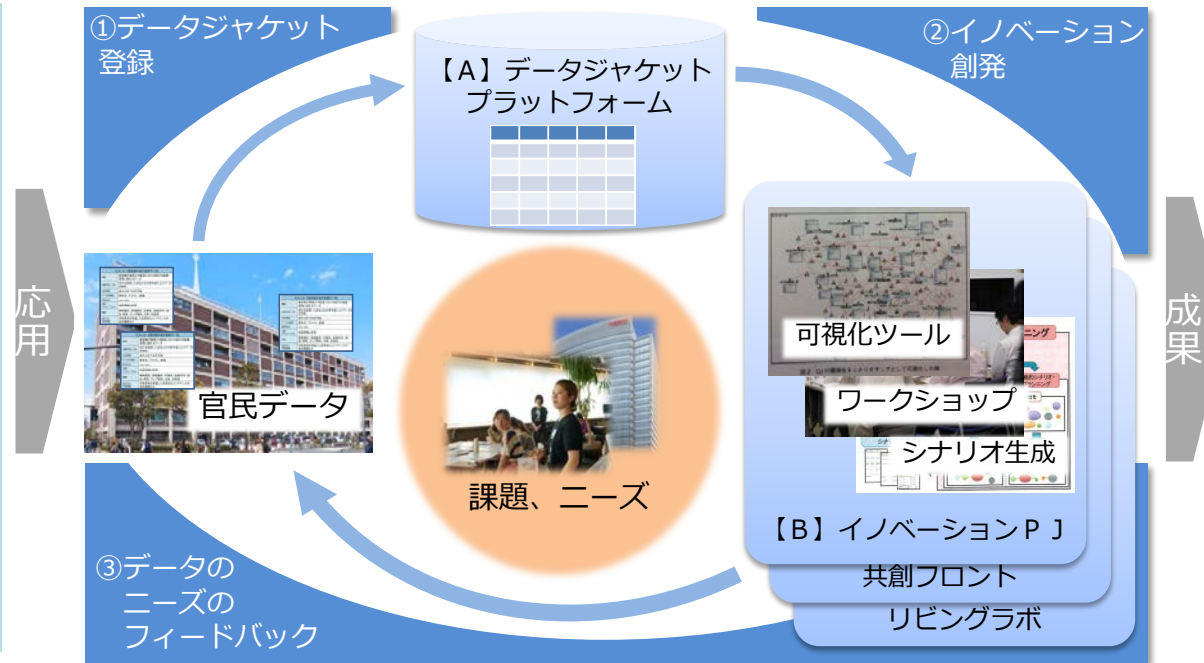
<b>実施地域</b>	神奈川県横浜市
<b>実施団体</b>	株式会社リアライズ
<b>事業概要</b>	横浜市の課題解決及びスマートシティ推進に役立つデータ利活用アイデアおよび課題解決シナリオを組織的・体系的に創発するため、(A)課題・ニーズ起点で官民データの「データジャケット(概要情報)」を登録・利活用するプラットフォームを構築するとともに、(B)そのデータへの可視化ツールの適用やワークショップの運営からなる一連のプロジェクトを実施する。

## 事業コンセプト

「データジャケット手法」(東大・大澤教授)  
 データセット全体ではなく、データの概要情報と課題・ニーズを組合せて可視化することで、潜在ニーズや解決策を発見する



## 本事業のフレームワーク



## 事業のゴール

- a) 課題・ニーズ起点での官民データ活用に利用可能なデータの概要情報を把握
- b) 組織的・計画的に官民データ利活用シナリオを創発し、優れたシナリオは実装へとつなげる
- c) フレームワークの普及を図り、行政機関/自治体間での共有・API連携で、さらに大きなスケールでデータをマッシュアップ



<b>実施団体</b>	兵庫県加古川市
<b>対象地域</b>	加古川市全域
<b>事業概要</b>	加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ、「子育て世代に選ばれるまち」の実現に向けて、安全・安心分野をはじめとした複数分野のデータを収集し分析等を行う基盤(プラットフォーム)を整備する。また、見守り活動を行う市民ボランティアをはじめ、学識者や民間事業者などの多様な主体が参画できる取組み体制を構築する。

(1) 3つの事業目的の実現

**安全・安心インフラ統合ダッシュボード  
(表示アプリケーション)**

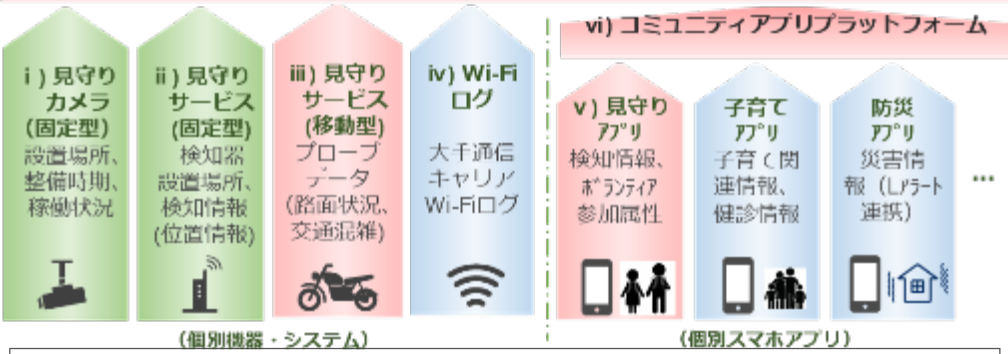
- 分野別データのレイヤ表示
- 重層表示による各地域の一元的把握
- 本事業においてプロトタイプを構築  
(必要な機能や画面レイアウト等を検討)
- 来年度以降、本格運用に向けた機能更新予定



(1) 3つの事業目的

- ① 市民満足度の向上による移住・定住人口の増加
- ② 市民のQoL・生産性の向上、財政負担の軽減
- ③ 地域力(地域コミュニティ)の強化と地域活性化

(2) 安全・安心インフラ統合データプラットフォーム  
(3) 複数分野のデータ利活用



(2) 安全・安心インフラ統合データプラットフォーム

- ① クラウドシステムの採用やデータ連携を想定
- ② FIWARE(ファイウェア)を中心に構成(検討)
- ③ データ利活用のためのオープンAPIを公開予定

(3) 複数分野のデータ利活用

- ① **防犯まちづくり:** 見守りカメラ、見守りタグ検知情報
- ② **交通まちづくり:** 車載プローブ、バスロケーション
- ③ **防災まちづくり:** Wi-Fiログ、(スマホアプリ) コミュニティアプリ利用ログ

<b>実施地域</b>	香川県高松市
<b>実施団体</b>	同上
<b>事業概要</b>	共通プラットフォームを産官学の連携により構築し、持続的に成長する上で市が抱える多様な課題のうち、特にプライオリティが高い防災・観光分野の課題についてデータを収集し、分析等を行うとともに、産官学の多様な主体が参画するための体制整備等を行う。

## プラットフォームのイメージ



## 防災分野における取組例

- ◆ 水位・潮位の観測点にセンサーを設置し、異常な水位上昇等を確認した際、必要な箇所への効率的な職員の派遣を実施。
- ◆ 主たる避難所(コミュニティセンター)へスマートメーターを設置することにより、避難所の使用可否の迅速な把握や避難所周辺エリアの停電確認を行うとともに、住民への正確な避難発令判断の実施。

## 観光分野における取組例

- ◆ レンタサイクルへのGPSロガーの設置により、レンタサイクルの利用による訪問先、滞在時間などを把握。
- ◆ 外国人観光客の訪問先を把握し、効率的かつ重点的な多言語対応を実施するとともに、市が認識していない新たな観光資源を発掘。

<b>実施団体</b>	会津若松市(アクセンチュア株式会社)
<b>対象地域</b>	福島県 会津若松市
<b>事業概要</b>	会津若松市スマートシティの取組みのより一層の加速化と市民参加の促進を目的とし、地域と市民とのワンストップ機能を担うデジタルコミュニケーションプラットフォーム2.0に向けたバージョンアップを図り、本プラットフォームを通じたデータやサービスの連携の標準化、データ分析人材育成や市民コミュニケーションの醸成を実施する。これら取り組みにより、ICT・データを活用して多様な分野にて推進している個々の事業の効果の最大化を図り、持続可能なシティズンセントリック型スマートシティの実現を目指す。



- 1 市民参加を促進するデジタルコミュニケーションプラットフォームの推進**
  - 市民とのコミュニケーションの醸成・スマートな街づくりへの参加・理解を促進
  - マイナバカードの活用に向けた仕掛けづくり
- 2 データ活用を促進するための標準API、開発者ポータルを整備**
  - オープンデータや匿名化されたパーソナルデータ活用を推進するための標準APIを整備
  - 開発者用ポータルを整備し、API活用促進
- 3 アナリティクス人材育成**
  - 実データを利用したアナリティクス人材の育成(会津大学にて実講義)
  - データ・アイデアソンを通じたサービス創出
- 4 ICT・データを活用した各事業の推進**
  - デジタルコミュニケーションプラットフォームを媒体として、エネルギー、観光、医療・健康、教育、農業、地域商社・通貨等の多様な取り組みを促進



# ⑥データ利活用型「スマートシティさいたまモデル」構築事業

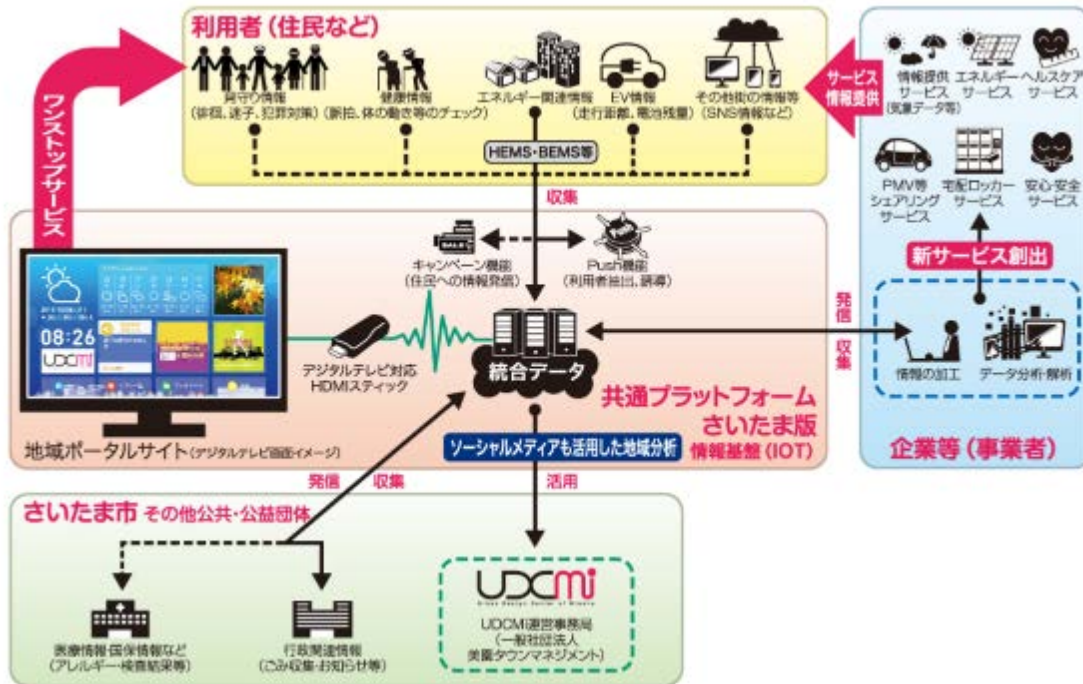
実施団体  
対象地域  
事業概要

一般社団法人美園タウンマネジメント

さいたま市美園地区(主として同市緑区・岩槻区にまたがる「みそのウイングシティ」の区域)

「スマートシティさいたまモデル」の実現に向け、本市美園地区を先導モデル地区として、様々な「まちのデータ」の収集・管理・活用を可能とする情報共通基盤を構築し、各種生活支援サービスをワンストップで提供することで、ライフスタイルやライフステージに応じた生活環境の実現(子育て世帯のゆとりの時間の創出等)と社会コストの最適化を図る。また、サービス提供者が、事業規模を問わず本システムに参画できるオープンなシステムとし、新たなビジネス・コラボレーションの創出、地域経済活性化を図る。

## プラットフォーム概念図



## サービス特質と処理階層

